

わたしたちは、良質な医療を提供し、地域の皆様から愛され、信頼される病院を目指します!



まい方よこ通信

2024年
冬号
VOL. 8

南部町国民健康保険 西伯病院



マルチリートメント委員会のメンバー

〈内容〉

- 内科紹介
- 3A病棟の紹介
- マルチリートメントの取組みについて
- 介護医療院の開設について
- OB会の除草について
- 花束の寄贈について

内科紹介



こんにちは、内科医師の宇田川です。今回は西伯病院の「内科紹介」としてお話していこうと思います。内科外来では高血圧症、脂質異常症、糖尿病、慢性腎疾患、呼吸器疾患、消化器疾患など幅広い疾患を診療しています。禁煙外来もあります。入院（病棟）は新患外来、救急外来からの入院、また他院からの転院患者さんが主です。ショートステイやリハビリ目的での入院もあります。当院には外科、整形外科、精神科、小児科があり適宜互いに連携を取っており、また患者さんに最善の治療を提供するため

鳥大医学部附属病院から非常勤で来て頂いている専門医の先生方と一緒に診療にあたっています。外来診察が終わると患者さんは診察室から待合室へ移動しますが、そのあと外来看護師が患者さんごとに次回検査の説明や確認、また予約表、処方箋を渡しに行きます。その際、主治医に話しにくかったことや、疑問に思ったこと、要望などを看護師、医療スタッフに伝えて頂ければと思います。診察室で主治医の診察、説明で終わりでなく診察終了後にも患者さんへのケアができる場所は西伯病院の良いところであり、これからも患者さんとのつながりを大切にしていきたいと思います。

西伯病院は総合病院ではないため、ある病気ではその治療に精通している専門科へ紹介し、最先端の治療を受けて頂く橋渡しのことも行います。毎日新患外来を担当しており、紹介状なく内科受診された患者さんを診察し、各専門科への紹介が必要と判断した場合は速やかに連絡をとり、早期診断・治療に全力を傾けています。また健診、ドックにも重点を置いており南部町の基本健診（20～39歳）、特定健診（40～74歳）、高齢者健診（75歳以上）、各種がん検診を行っています（胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん、その他肝炎ウイルス検査、結核検診があります。対象は40歳以上ですが、子宮がん検診は20歳以上の女性です）。胃がん内視鏡検診では南部町の住民さんは40歳～69歳までは1000円で受けることができ、70歳以上の方は無料です（南部町の開業医さんでも金額は同様です）。胃がん内視鏡検診時に癌などを疑う病変があった場合は、そのまま内視鏡施行中に組織検査を行い診断します。また大腸がん検診や肺がん検診で異常を指摘された場合は、当院で大腸内視鏡検査や胸部CT検査で精密検査を受けることができます。精密検査希望の方は内科新患外来を受診されてもよいし、また定期通院の患者さんであれば主治医に相談してみましよう。ドックではさらに詳しい血液検査や腹部超音波検査などで精査します。是非西伯病院で検診、ドックを受けてみてはいかがでしょうか。



内視鏡検査



超音波検査

「健康診断の血液検査で異常を指摘された」「微熱がなかなか治らない」「何かよくわからないけど身体がだるい」などお困りの場合には内科外来に遠慮なくご相談下さい。新型コロナウイルスは5類感染症となり2類感染症であった頃の厳重な感染対策はなくなりましたが、依然として病院内ではマスク着用が必要です。マスク越しでは患者さんの表情がよみ取りにくいことがあります。患者さんからしても主治医の表情が見えず不安になることもあるでしょう。いつかまた診察室で「顔の見える診療」が叶えば・・・と思っています。

内科医師 宇田川晃秀

3A病棟の紹介



病棟の特色

3階A病棟は49床からなる急性期一般病棟です。49床の中には、15床の地域包括ケア病床が含まれており、その病床では、急性期の治療を終了した患者様が在宅復帰に向けて診療、看護、リハビリを行う目的とした病床です。

3階A病棟では、内科、外科、整形外科の疾患で入院が必要となった患者様を受け入れ、治療をおこなっています。患者様が早期に治療を終了し、在宅、施設などに元気に退院していただけるように医師、看護師、リハビリスタッフなどが一丸となって看護を行っています。

また、退院支援の看護師、ケースワーカーと協力し、ケアマネージャーさんと連携を取りながら、退院後の生活を見据えてサービス調整などの援助も行っています。



職員について

当病棟は、看護師、ケアワーカーが連携し、業務を行っています。ベテランスタッフを始め、若いスタッフも多く、患者様が早期に回復されるよう治療に対する援助、入院生活を不自由なく過ごしていただくための環境作り、退院後を見据えた援助など様々なことを考えながら、主治医やスタッフ間で相談し、患者様のために日々奮闘しています。



病棟ががんばっていること

入院から1週間以内に地域連携室、リハビリスタッフと合同でカンファレンスを行っています。入院中の各部門が担当するケア目標を明確にし、入院時から今後の生活を思い描きながら治療とケア介入を行っていきます。カンファレンスの内容は病棟全体で情報共有を行い、日々の看護に活かしています。

新型コロナウイルスが発生し、2類感染症として対応していた時には、罹患された患者様を私たち3階A病棟が中心となって受入れていました。看護師の強い正義感と看護力を活かし、病院全体で一丸となり、新型コロナウイルス感染症に向き合ってきました。

西伯病院は、南部町唯一の病院です。今後も地域住民の皆様が安心して治療を受けられるような体制を整え、地域に貢献できるよう頑張っています。

▼コロナ病棟への対応の様子



▲リハビリカンファレンスの様子



▲患者様への配膳の様子

当院におけるマルトリートメントの 取組みについて

マルトリートメントという言葉が聞かれたことがありますか？マルトリートメントとは、大人から子どもに対する不適切な関わりの中で、虐待だけではなく、虐待とは言い切れないような避けたい関わりを含んだ概念です。例えば、体罰や言葉の暴力がそれにあたります。マルトリートメントは子どもの成長や発達に悪影響を及ぼし、心や体の不調を招く可能性があります。一方、マルトリートメントを繰り返してしまう大人は、子どもとの接し方がわからなかったり、気持ちに余裕がなかったり、子育てに困っているのかもしれませんが、また相談できなくて悩んでいるのかもしれません。

そんなマルトリートメントや子ども虐待に対応するために、病院内にマルトリートメント対策委員会ができました。通称マルトリ委員会です。マルトリで傷ついている子どもや、マルトリをしてしまう大人が、自ら声をあげたり助けを求めることは多くはありません。その声にならない声に気が付いて、どうしたらいいか一緒に考えるのがマルトリ委員会の役目です。それに気が付くためには、職員全員がマルトリや子ども虐待の知識をしっかりと持っていることが必要です。先日、院内で勉強会を開いたので、職員みんなが、傷ついている子どもや子育てに困り感や悩みをもつ大人に気が付けるように努めていきます。



勉強会の様子

子ども虐待防止活動に「オレンジリボンたすきリレー」というのがあります。これは子ども虐待防止のシンボルマークであるオレンジリボンをたすきにしてリレーすることで、子ども虐待防止を啓発する活動です。鳥取県西部地区では11月11日に開催され、マルトリ委員会も参加してきました。残念ながら天気が悪くリレーは中止になってしまいましたが、「子どもたちに明るい未来を」の気持ち強くし、多くの機関が団結して子ども虐待防止に取り組むことが確認されました。マルトリートメントや子ども虐待は地域で取り組む課題ですので、マルトリ委員会も役場や教育機関など地域の機関と連携して活動をしていきます。

子どもたち、ご家族、みんなの笑顔のために、お力になれるよう頑張ります。もし子育ての悩みなどがありましたら、小児科に遠慮なくご相談下さい。一緒に考えましょう。

小児科医師 坪内祥子



令和6年4月1日 介護医療院さくら（仮称）を 3階病棟内に開設！

令和6年4月1日に、現在の療養病床50床（医療療養病床34床、介護療養型医療施設16床）を医療療養病床30床及び介護医療院（定員16人）に転換します。

「介護医療院」

医療が必要な要介護高齢者の長期療養・生活施設
(介護保険施設)


経管栄養や喀痰吸引、
認知症ケアなど
慢性期の医療機能



看取り・ターミナルケア機能



長期療養の「住まい」機能



介護医療院とは、慢性期の医療と介護の必要性がある方や介護度の高い方が、長期療養生活を送られることを目的とし、「日常的な医学管理」や「看取り・ターミナルケア」等の医療機能と「生活施設」としての機能を兼ね備えた長期療養・生活施設です。

入居の募集、利用料金については別途お知らせします。

★介護医療院では・・・

- ・日常的に長期療養のための医療ケアが必要な要介護者を受け入れます。
- ・ターミナルケア（終末期医療）や看取りにも対応します。
- ・経管栄養や喀痰吸引等の日常生活上に必要な医療的処置に対応します。
- ・多職種チームによる幅広いリハビリテーションを実施します。
- ・利用者の生活の場としての機能を備え、プライバシーに配慮した環境づくりに努めます。
- ・家族や地域住民との交流を可能にした『医療機能を有する介護施設』です。
- ・要介護1～5に認定されたご利用者様の能力に応じた日常生活ができるよう支援します。

★さらに・・・

- ・医療面では医師を配置し、充実した医療・介護サービスを提供します。
- ・緊急に治療が必要な場合は、西伯病院で治療を受けることができます。
- ・ご利用者様の身体状況に配慮したお食事を提供します。
- ・センサーを活用した介護支援システムを全室に設置し、体調の異変の早期察知や転倒事故を防止します。

西伯病院OB会の除草ボランティアについて

9月22日（金）のまだ残暑が厳しいなか、西伯病院のOB会の5名の方々が病院の敷地内の除草をしていただきました。この活動は毎年実施していただき、病院敷地内が綺麗に保たれています。OBの皆様、ありがとうございました。



暑いなか作業ありがとうございました。

花束の寄贈について

毎月、林美保子様が来院の際、花束を寄贈していただき、院内各所に飾っています。様々な色合いの花達により、その場が明るく和みます。ありがとうございます。



それぞれの花束が
綺麗に配色されてます。

南部町国民健康保険西伯病院
〒683-0323 鳥取県西伯郡南部町倭397
TEL 0859-66-2211 <https://www.saihaku-hospital.com/>

病院に関するご意見、ご要望、また、広報誌に対するご意見などお待ちしております。

